

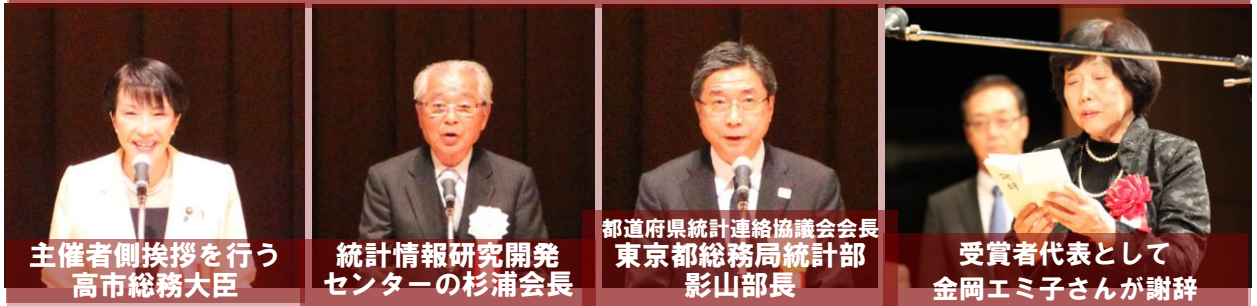
令和元年11月18日(月)午後、国立オリンピック記念青少年総合センターにて  
総務省・統計情報研究開発センター主催

## 第69回 全国統計大会 開催

第67回「統計グラフ全国コンクール」等表彰式も  
埼玉県立教新座高等学校2年「日本統計学会会長賞」  
川口龍之介さんの「埼玉県アニメ聖地巡礼」



会場を埋め尽くす全国からの参加者、アチコチから方言が聞こえる賑やかな大会でした



主催者側挨拶を行う  
高市総務大臣

統計情報研究開発  
センターの杉浦会長

都道府県統計連絡協議会会長  
東京都総務局統計部  
影山部長

受賞者代表として  
金岡エミ子さんが謝辞

令和元年11月18日(月)午後1時半から午後3時、国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟で、総務省と統計情報研究開発センター主催《第69回全国統計大会》が開催されました。

《第69回全国統計大会》は、日ごろ日本国内の状況がどのようになっているのか、把握するために総務省はじめ、文部科学省、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、農林水産省等の各省庁が実態把握のための調査、データ収集を行っています。その調査活動を行う人々の功績をたたえ、表彰するために開催しているもので、今年で69回目を数えます。

高市総務大臣の開会挨拶、来賓挨拶の後、各省大臣表彰、第4回地方公共団体における統計データ利活用表彰、統計データ分析コンペティション入賞者表彰、第67回統計グラフ全国コンクールの入賞作品表彰、令和元年度「統計の日」標語表彰、大内賞の表彰が行われました。

《第67回統計グラフ全国コンクール》の入賞作品表彰の内、《日本品質管理学会賞》は香川県丸亀市立岡田小学校4年の山田彩陽さんが受賞、日本品質管理学会の鈴木知道副会長が表彰状を授与しました。

最後に受賞者代表が謝辞を述べ、午後3時に全ての行事は終了しました。

# 《第69回全国統計大会》の様相



北海道から九州・沖縄まで全国の統計関係者が600名余りが参加した第69回全国統計大会  
会場内のあちこちで方言が飛び交い、各地から遠路お運び頂いていることが分かります

主催者の総務省の高市総務大臣の開催挨拶に続き、統計情報研究開発センター杉浦会長による挨拶、都道府県統計連絡協議会長・東京都総務局・影山統計部長の来賓挨拶終了後、早速、全国から集まった受賞者への総務大臣表彰を皮切りに、厚生労働大臣表彰、農林水産大臣表彰、経済産業大臣表彰、国土交通大臣表彰の順に行われ各種表彰式が行われました。



少し緊張していますか?・・・受賞者の皆さん



こちらは余裕ですか?・・・授与する側の皆さん

大臣表彰に続き、第4回地方公共団体における統計データ利活用表彰、統計データ分析コンペティション入賞者表彰、第67回統計グラフ全国コンクール入賞者表彰、令和元年度「統計の日」標語表彰、大内賞授与が行われ、最後に受賞者代表による謝辞があり、終了しました。

# 《第69回全国統計大会》 各省大臣表彰



## 《総務大臣賞》



兵庫県の伊達浩子さんと香川県の金岡エミ子さんに、進藤総務大臣政務官から表彰状が授与されました

## 《厚生労働大臣賞》



長崎県の川浪洋子さんに鈴木政策統括官が授与

最初の総務大臣表彰は国勢調査はじめ、経済センサス、労働力調査、家計調査等々、総務省が扱う統計データ収集を行っている皆さんの表彰です。

労働力調査関係157名、小売物価統計調査53名、家計調査44名、個人企業経済調査11名、住宅・土地統計調査267名、各種統計調査103名等調査員が表彰されました。

続いて厚生労働大臣表彰は、出生、人口、所帯等基礎情報から、保健衛生、社会福祉、介護・高齢者福祉、社会保障、雇用、賃金、労働時間、人材開発、労働災害、労働安全衛生、労働保険、労使関係等々の統計データの調査、収集に携わり、貢献した方々に対する表彰です。

厚生統計が32名、労働統計が58名の他、7県4市、調査対象467事業所等が表彰されました。

# 《第69回全国統計大会》 各省大臣表彰

## 《農林水産大臣賞》



北海道の堀田博さんに大杉大臣官房統計部長が授与

農林水産大臣表彰は、農家数、農業就労数、農地、作付面積、生産数、家畜頭数など畜産情報、花き等生産物情報、農家の所得や生産コスト、農業算出数、農畜産物市場指数、森林・林業、水産業、農林水産物輸出入等々、情報収集に貢献した方々への表彰です。

永年協力者798名、特別協力者100名が表彰されました。

経済産業大臣表彰は、鉄鋼、金属、非鉄金属など材料、電線・ケーブル、金属製品、土木建設機械、鉱山機械、破碎機、食品加工機械、各種産業用生産機械、電気・電子・情報通信機器やシステム、光ファイバー、輸送機械、窯業・土石・建材関連機械、石油化学・ガス化学・化学肥料や薬品、ゴム・プラスチック製品、繊維産業、紙・パルプ・紙加工品等々の生産情報や市場情報などの調査に貢献した方々の表彰です。

構造統計971名、動態統計22名が表彰されました。

国土交通大臣表彰は、土地や建設工事、建築や不動産に関する情報はじめ、鉄道・海運・船舶・船員あるいは航空などの交通網や貨物輸送や物流、自動車・鉄道車両等々に関する情報の収集に尽力・貢献した皆さんの表彰です。

建設統計92事業所、統計調査員1名、地方公共団体職員6名が表彰されました。

## 《経済産業大臣賞》



東京都の田島善行さんに太田大臣官房が授与

## 《国土交通大臣賞》



富山県の黒部エムテック株式会社に  
岩崎総合政策局合理的根拠政策立案推進本部長より授与

## 第4回「地方公共団体における統計利活用表彰」



### 《総務大臣賞》神奈川県葉山町



「葉山町きれいな資源ステーション協働プロジェクト」に  
進藤総務大臣政務官から表彰状を授与されました

### 《統計局長賞》福島県会津若松市



「住基空間情報を軸としたGIS\*利活用」に  
佐伯統計局長から表彰状が授与されました

続いて第4回「地方公共団体における統計利活用表彰」が行われました。

「地方公共団体における統計データ利活用表彰」は、客観的な統計データに基づく的確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、地方公共団体における統計データの利活用を目的に行われています。

《総務大臣賞》は神奈川県葉山町の「葉山町きれいな資源ステーション協働プロジェクト」が表彰されました。

資源ゴミ収集拠点のモニタリング調査及びランダム化比較実験により、思い込みによる政策（不法投棄対策）からデータに基づく政策（不適切利用対策）を決定した住民協働による政策決定が《総務大臣賞》となり、進藤総務大臣政務官から表彰状を授与されました。

福島県会津若松市の「住基空間情報を軸としたGIS\*利活用」に《統計局長賞》が授与されました。

日々の住民異動を統合GISに反映し、最新の住民ポイントデータを整備、庁内横断的に様々な業務において行政サービス改善や業務の効率化を推進したが選ばれ、総務省統計局の佐伯局長より《統計局長賞》を授与されました。

\*GIS : Geographic Information System

## 第4回「地方公共団体における統計利活用表彰」

### 《特別賞》東京都港区



「港区におけるクリエイティブ産業実態調査」に  
佐伯統計局長より表彰状が授与されました

### 《特別賞》兵庫県姫路市



「行政情報分析基盤による業務改革とEBPMの推進」に  
佐伯統計局長より表彰状が授与されました

### 《特別賞》和歌山県



「次世代を担うデータサイエンス人材の育成」  
佐伯統計局長より表彰状が授与されました

第4回「地方公共団体における統計利活用表彰」の《特別賞》には、東京都港区の「クリエイティブ産業実態調査を用いた地域特性を活かしたまちのにぎわい創出策の展開～港区におけるクリエイティブ産業実態調査～」が選ばれ、佐伯局長より表彰状が授与されました。

同じく《特別賞》が兵庫県姫路市の「行政情報分析基盤による業務改革とEBPM\*の推進」、具体的には「住民情報などの行政保有データを、個人が特定できないように処理を行い、庁内ビッグデータとして分析作業や業務改善に活用する仕組みを構築した」が選ばれ、佐伯局長より表彰状を授与されました。

同じく《特別賞》に和歌山県の「次世代を担うデータサイエンス人材の育成」、具体的には「全国の高校生・大学生等を対象に行政課題に対するデータを活用した解決アイデアを募集し、優秀な提案を表彰、小中高大それぞれの段階に応じた体系的な人材育成を実施」が選ばれ、総務省統計局の佐伯局長より表彰状を授与されました。

\*EBPM (Evidence Based Policy Making)

# 「統計データ分析コンペティション」入賞者表彰



## 《総務大臣賞》



高校生の部はお茶の水女子大学附属高等学校の皆さん  
大学生の部は筑波大学大学院システム情報工学研究科の皆さん

## 《優秀賞》



渡邊璃里香さん、吉田美咲さんと竹内太郎さんに  
佐伯統計局長から《優秀賞》の表彰状が授与されました

「統計データ分析コンペティション入賞者表彰」は高校生の部、大学生一般の部に分かれています。

《総務大臣賞》の高校生の部はお茶の水女子大学附属高等学校の竹内遥さん、江本もえさん、木下舞さん、永井あゆるさんの「ワンオペ育児から見る離婚」でした。

大学生の部は筑波大学大学院の張さんと白鳥友風さんの「地方創生目標指標に関する変化要因ネットワーク」が選ばれ、進藤総務大臣政務官から表彰状を授与されました。

《優秀賞》の高校生の部は、愛媛県立松山南高等学校の渡邊璃里香さんと吉田美咲さんの「南海トラフ地震に備えて～指定避難所に3人に1人が避難できず、災害時の医療体制は本当に十分か?～」が、また大学生の部は大阪大学医学部の竹内太郎さん「我が国における人口増減の決定要因」が選ばれ、佐伯統計局長から表彰状が授与されました。

# 「統計データ分析コンペティション」入賞者表彰

## 《統計数理賞》



《統計数理賞》福島工業高等専門学校の猪狩信人さんに統計数理研究所の椿所長より表彰状が授与されました

## 《統計活用奨励賞》



《統計活用奨励賞》受賞の広島大学附属高等学校の大段さんに日本統計協会的美添理事長より表彰状を授与されました

## 《統計活用奨励賞》



武蔵野大学工学部の村松波さん、熊野翔さん、川田瑛貴さんに日本統計協会的美添理事長から表彰状を授与されました

続いて《統計数理賞》の高校生の部は、福島県立福島工業高等専門学校の猪狩信人さんの「過疎地域の現状分析と発展に重要な視点」が選ばれました。

また大学生・一般の部は、一橋大学経済学部の松本洋輔さんの「マルチレベル分析を用いた市町村大学等進学率の決定要因」が選ばれましたが、海外留学中のため欠席されました。

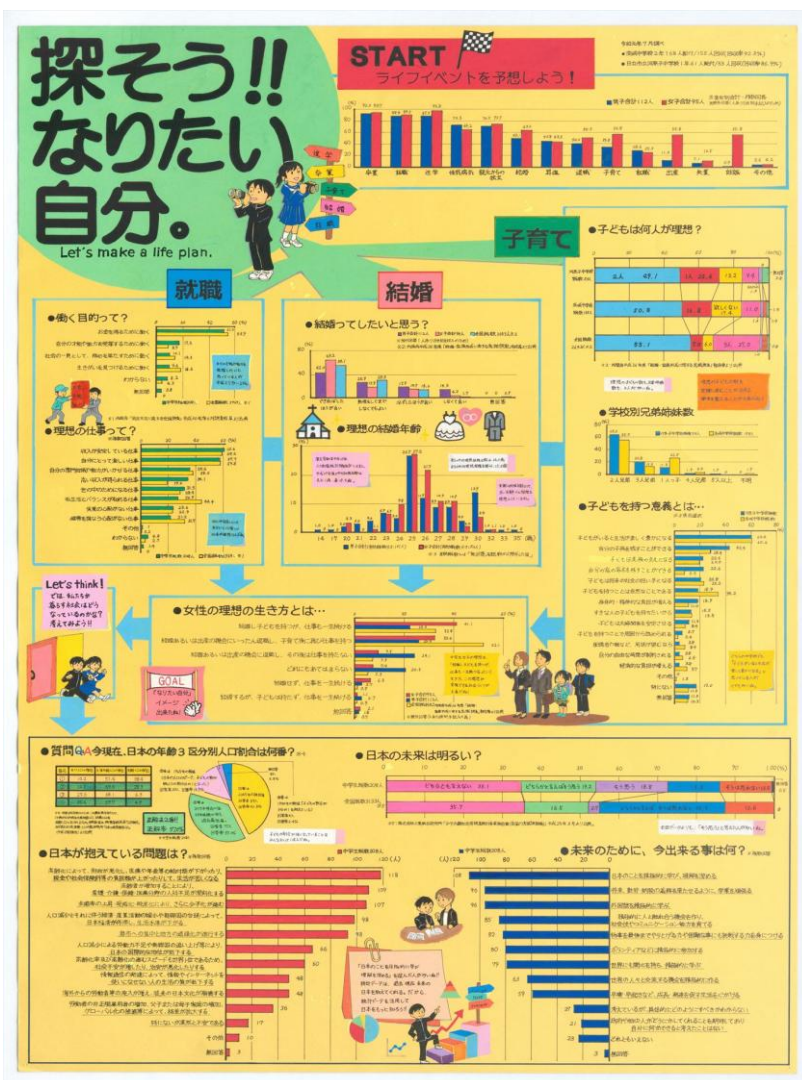
《統計活用奨励賞》の高校生の部は、広島大学附属高等学校の大段利々子さんの「日本で暮らす外国人の動向から見た多民族化」、大学生・一般の部は武蔵野大学工学部の村松波さん、熊野翔さん、川田瑛貴さんの「市区町村別でみる合計特殊出生率推移の特徴分析」が選ばれ、日本統計協会的美添理事長より表彰状が授与されました。

この他に《特別賞》として、高校生の部で岡山県立岡山操山高等学校の池田雅子さん、香川県立観音寺第一高等学校の宇田川昇吾さん、宮本紫苑さん、山地悠介さんに、大学生の部で東北大学大学院文学研究科の眞田英毅さんと株式会社情報サービスの三浦萌実さん、関西学院大学の西尾春香さん、早稲田大学の原さん、福田和生さん、柳田はずきさんに、同じく早稲田大学の平原幸輝さん、計11名の皆さんに授与されました。



# 《第67回統計グラフ全国コンクール》表彰風景

## 《総務大臣賞》・・・茨城中学校2年 根岸 浩志朗 さん



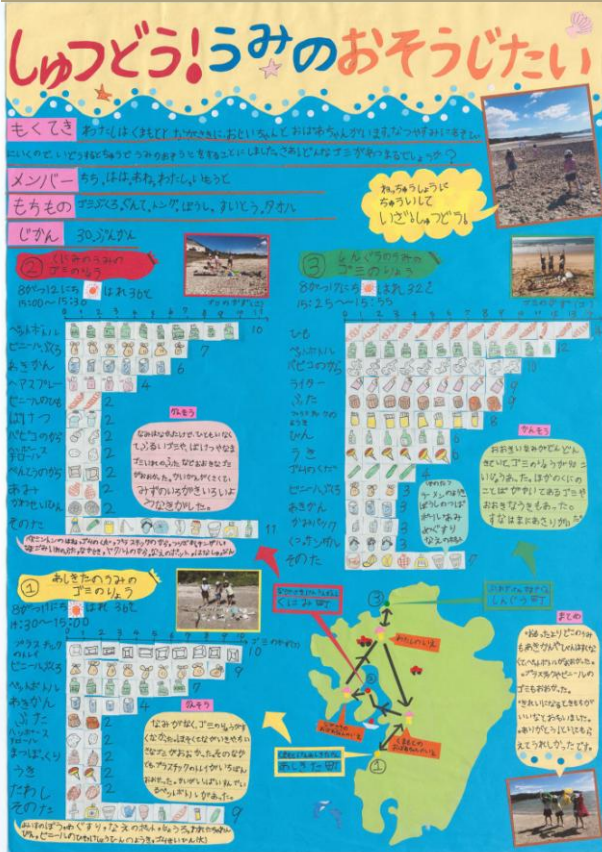
進藤総務大臣政務官から総務大臣賞を根岸さんに授与

《統計グラフ全国コンクール》は小学校1・2年の第1部、3・4年の第2部、5・6年の第3部、中学生の第4部、高校生以上が第5部、その他パソコン部門に分けて審査され、全国統計大会で表彰されます。

今年、第67回目を数える今回は、鳥取県除く全国都道府県25,787件の作品の中から、総務大臣賞、文部科学大臣賞、日本統計学会会長賞、日本品質管理学会賞等が選ばれ、表彰状が授与されました。

# 《第67回統計グラフ全国コンクール》表彰風景

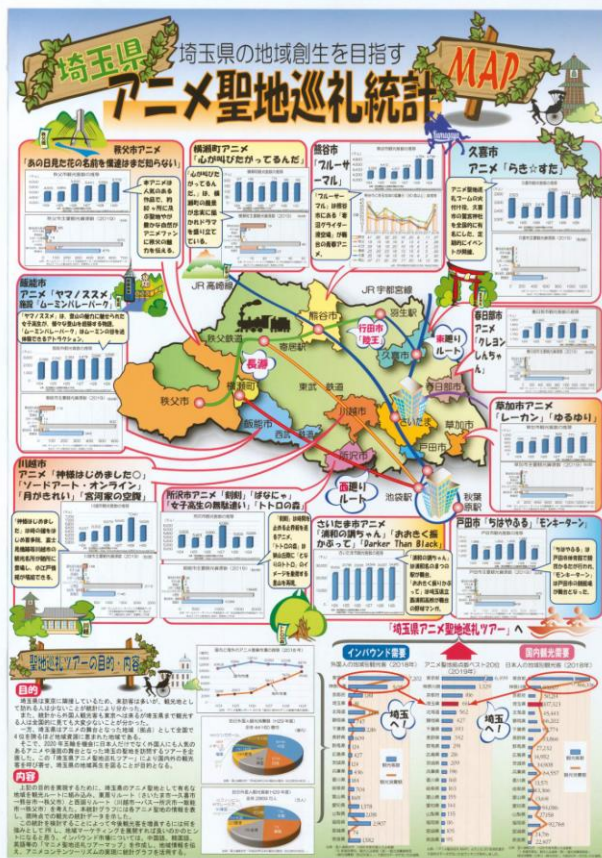
## 《文部科学大臣賞》…春日東小学校1年 宮本 紗帆 さん



平野大臣官房審議官が宮本さんに表彰状を授与

《文部科学大臣賞》は福岡県春日市立春日東小学校1年生の宮本紗帆さんの作品第1部の特選を受賞した「しゅつどう! うみのおそうじたい」は、熊本と長崎にいるおじいちゃんとおばあちゃんに会いに行く途中、両親とともに海のお掃除をしようとして取り組んだゴミの分析結果をグラフで紹介した作品でした。

## 《日本統計学会会長賞》立教新座高等学校2年 川口 龍之介 さん



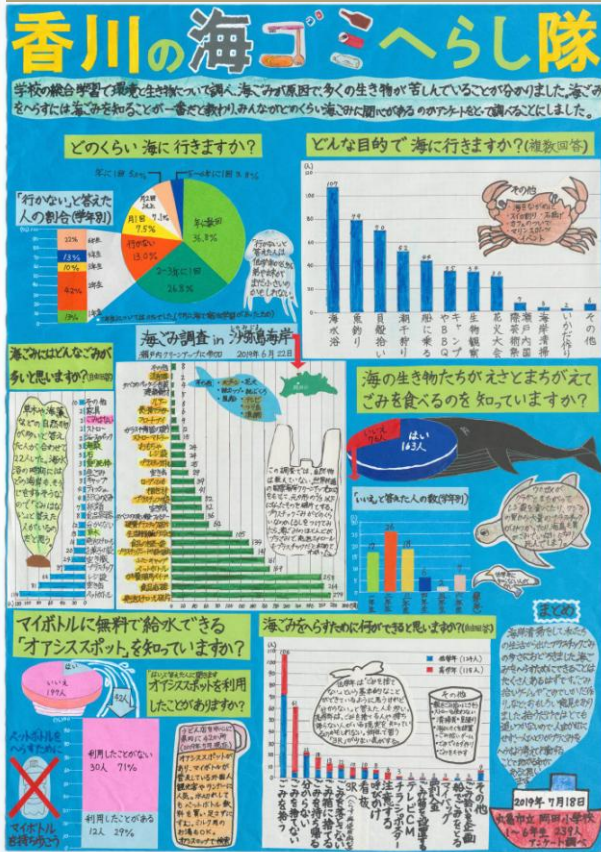
川崎会長から表彰状を授与される川口さん

《日本統計学会会長賞》は立教新座高等学校の川口龍之介さんの「埼玉アニメ聖地巡礼統計MAP」はパソコンの部で特選を受賞した作品です。

埼玉県内のアニメ聖地といわれる秩父市、熊谷市、久喜市、飯能市、所沢市、春日部市、草加市等々、県内各地にあるアニメ聖地を巡礼するツアーを具体化し、埼玉県内の地域創生を目指した作品です。

# 《第67回統計グラフ全国コンクール》表彰風景

## 《日本品質管理学会賞》丸亀市立岡田小学校4年 山田 彩陽 さん



鈴木副会長から表彰状を授与される山田さん

《日本品質管理学会賞》は香川県丸亀市立岡田小学校4年の山田彩陽さんの作品「香川の海ゴミへらし隊」、第2部特選受賞作品、学校の総合学習で環境と生き物について勉強し、海ゴミが原因で多くの生き物が苦しんでいることを知った山田さん、海ゴミを減らすにはどのような海ゴミがあるのか、どれくらい関心を持っているかアンケート調査を実施した記録でした。

## 《金丸三郎賞》高松市立太田南小学校5年 前田 壮一朗 さん

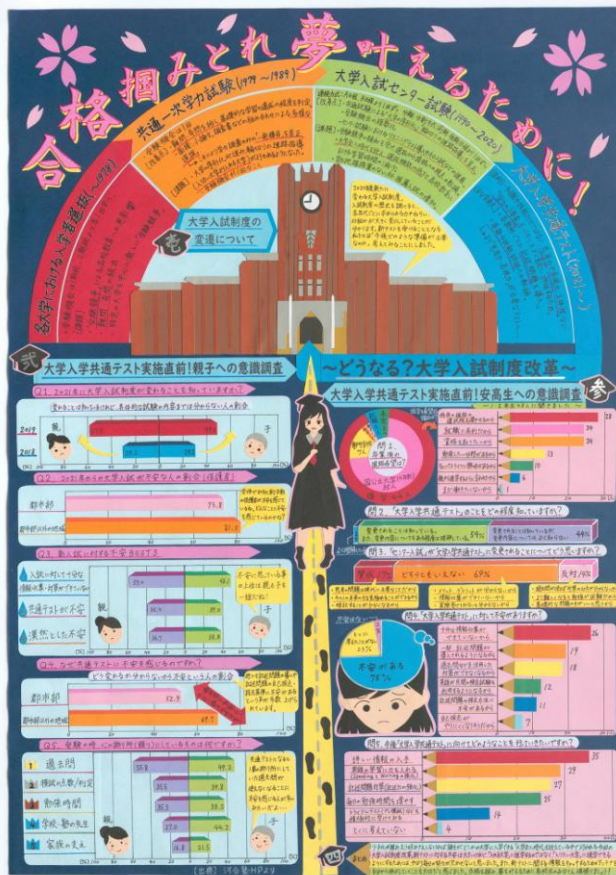


杉浦会長から表彰状を授与される前田さん

《金丸三郎賞》は香川県高松市立太田南小学校5年の前田壮一朗さんの「もっといっぱい話そうよ！親子のコミュニケーション調べ」第3部の特選でした。「平日に親とどれくらい話しますか？」あるいは「休日に親とどれくらい話しますか？」と同学年の157名を調べてまとめたグラフでした。

# 《第67回統計グラフ全国コンクール》表彰風景

## 《石橋信夫賞》大分県立安心院高等学校1年 佐藤 紗雪 さん



杉浦会長より表彰状を授与される佐藤さん

《石橋信夫賞》は大分県立安心院高等学校1年の佐藤紗雪さんの「合格掴みとれ、夢叶えるために!」第5部特選受賞の作品でした。大学入試共通テスト実施直前、どうなる大学入試制度改革と心配だらけの背景を分析したグラフでした。

## 会場一階のロビーには統計グラフ全国コンクールの入賞作品が展示されました



全国から25,787点の応募があり、二回の審査で168点に絞り込み  
その中から《総務大臣賞》等各賞が決定、ホールに展示されました

## 《令和元年度「統計の日」標語》表彰風景

### 「統計の日」標語《特選》仙台市立第一中学校2年 三浦 叡 さん



令和元年度は全国から約1万点の応募があり、その中から中学の部で仙台市立第一中学校の三浦さんが《特選》に決定



10月18日  
統計の日

統計調査へのご回答をお願いします。  
政府では、オンライン調査を推進しています。

統計調査  
政府統計

総務省・各府省統計主管部局



総務省の横田政策統括官より表彰状を授与される三浦さん



壇上《特選》の三浦さんと佳作となった5名の皆さん

《令和元年度「統計の日」標語》は、統計の重要性に対する関心と理解を深め、調査に対し一層の協力を頂けるよう定めた統計の日“10月18日”の周知を図るため、毎年募集、ポスターを制作しています。

令和元年度の標語は宮城県仙台市立第一中学校2年の三浦叡さんの「数字の先に映し出せ、新たな時代、僕らの未来」でした。

## 令和元年度《大内賞》表彰風景



岩手県の斉藤綾子さん、神奈川県の高橋かほるさん、徳島県の古津恵子さんに北村 大内賞委員会委員長（統計委員会委員長）が表彰状を授与しました



我が国の官庁統計の基礎を作った大内兵衛先生を記念した《大内賞》が岩手県の統計調査員・斉藤綾子さん、神奈川県の統計調査員・藤井かほるさん、徳島県の統計調査員・古津恵子さんに授与されました。



最後に受賞者を代表し金岡エミ子さんが謝辞を述べ、午後3時に、全国統計大会は終了しました。



午後1時、開会前に高市総務大臣を迎えて記念撮影が行われました